

リング型表示灯 (出面調整タイプ、石貼り対応用) 施工説明書

FLPJ004-AS
ELPJ006-AS



このたびは、当社の製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

注意 正しく施工していただくために、設置工事を実施する前にこの施工説明書
⚠️ をお読みください。

- 施工後は、この施工説明書を大切に保管してください。
- 本製品を施工するには、別売りの発信機が必要です。
別途発信機をお買い求めください。
- 発信機の取扱については、発信機に付属する取扱 / 施工説明書をお読みください。

能美防災株式会社

1. 本書の表記

警告表示について

警告表示は、警告文と警告レベルを示す記号の組合せで表示されます。

■ 警告文

危害や損害の大きさや切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをした場合に生じるおそれがある内容を、「警告」、「注意」の2つに区分しています。

警告 取り扱いを誤った場合、使用者が重傷や傷害を負うか、防災機能の一部に重大な悪影響を及ぼすおそれがあることを示しています。

注意 取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うか、防災機能に悪影響を及ぼすおそれがあることを示しています。また、防災機能を長期にわたって有効に活用する上で、ぜひ守ってほしい事項について示しています。

■ 記号

⚠️ 警告・注意を促す内容があることを示しています。

🚫 禁止内容を示しています。

2. 安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全にお使いいただき、お客様やほかの人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。ご使用になる前に、「安全上のご注意」をよくお読みください。

注意 ⚠️ ジャックカバーは取付後に必ず閉じてください。引っかけケガをする、または機器内部にゴミや水などが入り、故障の原因となります。

警告 ⚠️ 機器を分解・改造しないでください。感電・故障・発火の原因となります。

警告 ⚠️ 本製品は屋内型です。屋外に設置しないでください。

警告 ⚠️ 取付板と配線の通電部を接触しないようにしてください。
感電・故障・発火の原因となります。

注意 ⚠️ 受信機の電源を入れた状態で、配線・取り付け・結線をしないでください。
故障の原因となります。

注意 ⚠️ 濡れた手で機器の配線や幹線ケーブルに触れないでください。
感電のおそれがあります。

3. 梱包箱内の付属品など

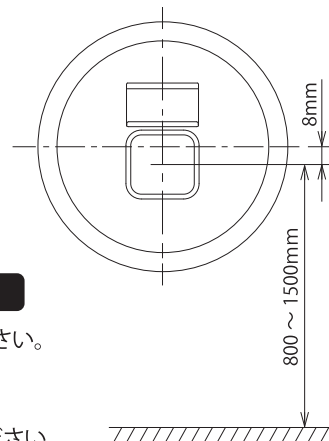
梱包箱の中には次の付属品が入っています。

梱包箱をあけた際には、まず付属品がそろっているか確認してください。

- ◆ 施工説明書(本書)…………… 1 枚
- ◆ 取付板…………… 1 個
- ◆ 取付ネジ(M4×50)…………… 3 本(予備1本含む)
- ◆ フランジ付ナット…………… 1 5 個(予備 3 個含む)

4. 取付位置について

発信機は押しボタンの中心が床から
800mm以上～1500mm以下
の位置となるように設置してください。



5. 電線について

電線は必ず下記の電線を使用してください。

単 線: φ 0.5～1.6mm
より線: 0.5～2.0mm²

電線の剥き長さは約10mmとしてください。

6. 仕様

種別	表示灯	
型名	FLPJ004-AS	ELPJ006-AS
型式番号	—	認評非第30～4号
定格電圧・電流	AC/DC24V, 15mA	
使用電圧範囲	AC/DC20V～35V	
使用温度範囲	－10～50℃	
表示灯用光源	赤色発光ダイオード	
主材	ポリカーボネート系樹脂	
質量	240g	

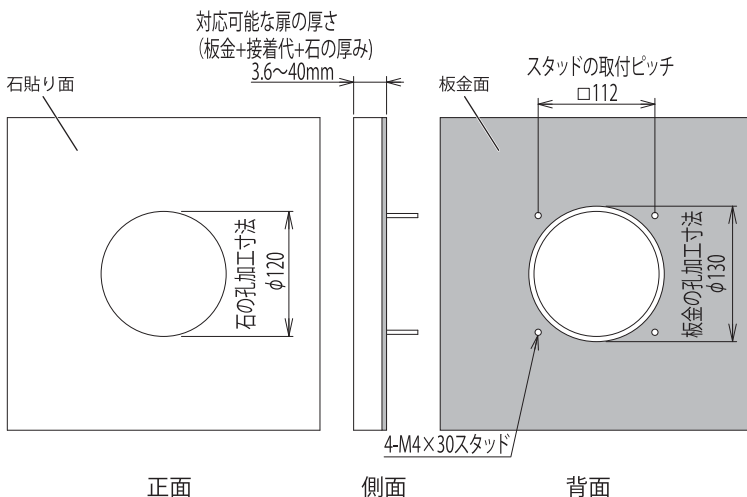
7. 取付可能な壁面

格納箱、建築扉、消火栓収納箱などのスタッドが取付可能なもので、表面に石など厚みのあるものを貼付け、扉の厚みが3.6mm～40mmで、裏側で取付作業ができる場合にかぎります。

❗ 取付できない壁面

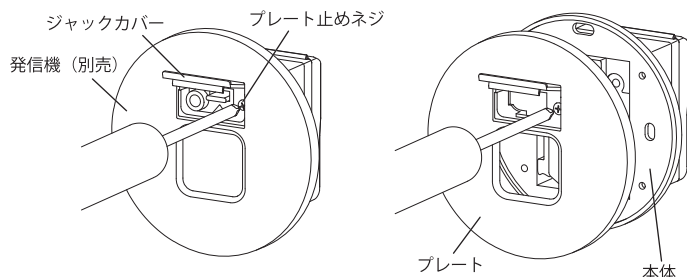
木製ボードや石こうボードなどのスタッドが取り付けできない壁面、および裏側で取付作業が出来ない壁面には取付できません。

8. 取付加工図

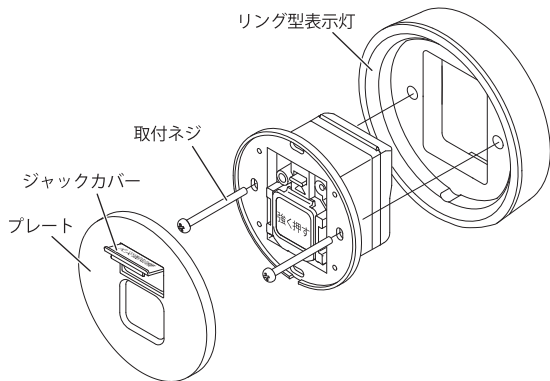


9. 取り付け方法

- (1) 発信機のジャックカバーを開け、プレート止めネジ（1ヶ所）をゆるめてプレートを取り外します。



- (2) 発信機とリング型表示灯を取付ネジ（M4×50）で固定します。



- (3) プレート止めネジをしめて、プレートを本体に固定します。

- (4) ジャックカバーを閉めます。

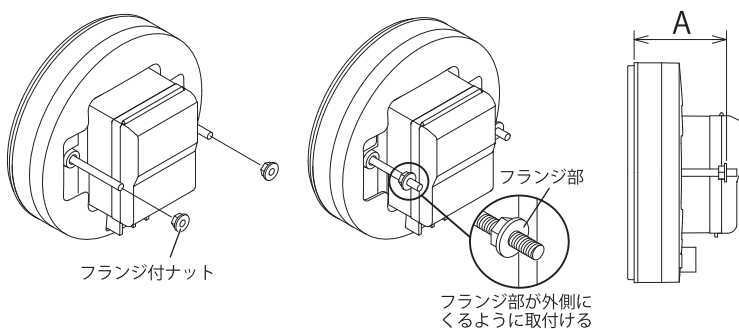
注意 ジャックカバーは取付後に必ず閉じてください。引っかけでケガをする、または機器内部にゴミや水などが入り、故障の原因となります。

- (5) (2) で固定した取付ネジにフランジ付ナットを取り付けます。（左右2箇所）

- フランジ付ナットの取付位置（A部）は、取り付ける扉（以下扉）の厚さに応じて調整します。

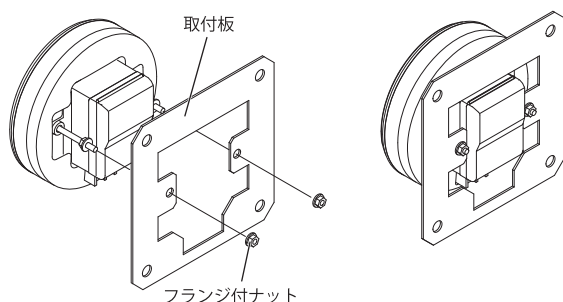
■扉の厚みとA部の長さ■

扉の厚み	A部の長さ
3.6～10mm	約27mm
10～40mm	約48mm



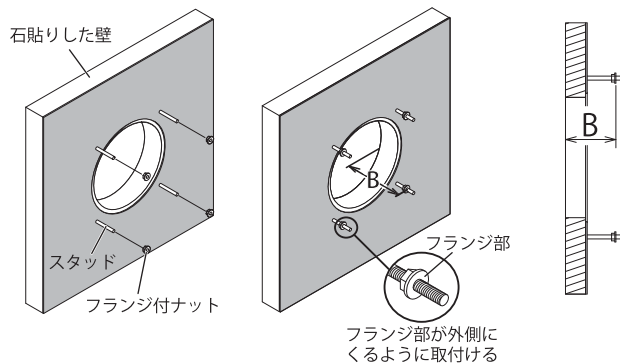
Ⓜ 左右でA部の寸法が同じになるように調整してください。

- (6) 取付板を取付ネジに取り付け、フランジ付ナットで取付板を挟んで固定します。



- (7) 扉のスタッドにフランジ付ナットを取り付けます。（4ヶ所）

- (5) で調整したA部の寸法とB部の寸法が同じになるように、フランジ付ナットの位置を調整します。

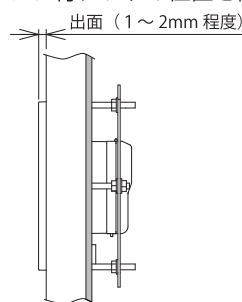


Ⓜ B部の寸法が4ヶ所とも同じになるように調整してください。

- (8) リング型表示灯を扉へ固定します。

- 取付板を取り付けたリング型表示灯付発信機（(6) で組み立てたもの）を扉のスタッドに取り付けます。

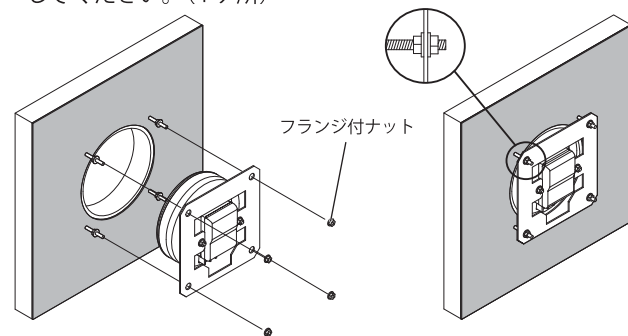
- リング型表示灯が1～2mm程度、石の表面から出るように(7) で取り付けたフランジ付ナットの位置を微調整してください。



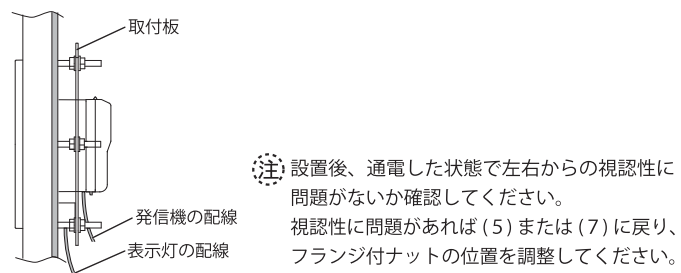
注意 表示灯の出面が、必ず壁面より凸になるように設置してください。壁面より凹になると、自動火災報知設備の施工規則※に定められている基準に適合しません。

※ 消防法施行規則第24条8の2の二
表示灯は、赤色の灯火で、取付け面と15度以上の角度となる方向に沿って10メートル離れたところから点灯していることが容易に識別できるものであること。

- 微調整が完了したら、フランジ付ナットでリング型表示灯を固定してください。（4ヶ所）



- (9) リング型表示灯と発信機の結線を行います。



警告 取付板と配線の通電部を接触しないようにしてください。
Ⓜ 感電・故障・発火の原因となります。

注意 受信機の電源を入れた状態で、配線・取り付け・結線をしないでください。
Ⓜ 故障の原因となります。

注意 結線後、機器の端子部に負荷がかからないようにしてください。
Ⓜ 故障の原因となります。